

**鉄道高架は東西回遊を重視し
伊勢崎線第120号踏切は
安全対策の確立を**



井上 英治
議員

本市の鉄道高架と既に完成している草加・越谷地区連続立体交差事業のそれぞれの市の負担割合について伺います。また、現在の計画では、東西が分断されかねないかの懸念を持ちますが、東西貫通道路の考え方について伺います。また、内谷陸橋を残したまま鉄道高架とするのが現在の計画ですが、老朽化した内谷陸橋の取り壊しとセットで鉄道高架の工事を行うことが良策と思われるかがありますか。また、東武伊勢崎線第120号踏切の安全対策について平成22年にも取り上げ予算要求を行ってききましたが、進捗状況について伺います。

○鉄道高架担当部長

草加・越谷地区連続立体交差事業における地元市の負担割合は約10パーセントでした。本市の負担割合は鉄道事業者の負担割合がまだ確定していませんが約10パーセントにな

る予定です。東西の車両通行は駅周辺の通過交通が相当数見込まれ交通滞滞の原因となるだけでなく、商業の活性化等への影響が懸念されることから実現は難しいと考えています。現在の鉄道高架事業計画では、内谷陸橋を有効活用することとしています。

○建設部長

東武伊勢崎線第120号踏切には、平成23年2月に踏切の両側に注意を喚起するための看板を設置しました。

このほか

○春日部市民武道館の利便性向上について



**平成24年度当初予算
編成について**



会田 幸一
議員

今後どのように予算編成を進めていくのかについて伺います。現在、歳入歳出の収支不足が約38億円という状況にあります。この38億円の収支不足についてどのように解消を図っていくのか。

また、重点的な取り組みを実現するためには、どのような予算編成を進めていくのか、市民・団体からの予算要望をどのように活かしていくのか伺います。

現在、課題となっている事業で、これも医療費通院分の支給対象年齢の段階的拡大に取り組み考えはあるのか質問します。

○財務担当部長

平成24年度の予算編成にあたっては、藤塚米島線整備事業、南桜井駅周辺整備事業、東中学校改築事業などの事業を特定重要事業と位置付け、また新たに、元気な春日部新規事業枠を設けて、重点かつ

効率的な予算配分をします。その他の個々の事業については、経営刷新会議等において削減案を提示し、真に必要な行政サービスや効果的な事業であるか精査します。

市民・団体からの要望については、内容を十分に踏まえ、限られた財源を効率的に配分することを基本とします。

○市長

こども医療費の支給年齢の拡大については、できれば平成25年度から実施できるように前向きに検討します。

このほか

○児童虐待の防止について

**太陽光発電設備の
助成について**



鬼丸 裕史
議員

東日本大震災の影響から、原子力や火力を中心とした発電から、再生可能エネルギーへの転換が注目されています。

本市では、夏の節電対策に全庁的に取り組み、使用電力を21・4パーセント削減し、1500万円以上の経費削減が図られたとのことですが、

その削減分を再生可能エネルギーの代表格である、太陽光発電設備の助成制度へと活用してはいかがでしょうか。

また、現金での助成ではなく、市商業組合の発行する市内共通商品券で助成を行い、地元事業者の支援にも活用してはいかがでしょうか。

○環境経済部長

県の助成制度が変更となり、4キロワット未満の太陽光発電設備が対象外となりました。一般的な設備は3キロワット前後であり、多くの設置に対し助成がなくなります。そのため市で新たに助成を行い、普及を図りたいと考えています。また、市内共通商品券での助成は、太陽光発電設備の設置が大変高額であり、現金での支給を望む方が多く、難しいところですので。そのため、市内で太陽光発電設備を取り扱う事業者の情報を集め、制度を利用する方々へ情報提供を行い、地元事業者への支援としたいと考えています。

○市長

太陽光発電設備への助成制度については、平成24年度実施を目指しています。

このほか

○特色ある教育活動について

**人間ドックの再開で
命と健康を守り
医療費抑制を**



卯月 武彦 議員

平成19年度まで本市の国保加入者は5千円の自己負担で人間ドックを受けることができました。そのため19年度は多くの方が人間ドックを受診されています。しかし、20年度に補助は廃止され、21年12月議会では人間ドック補助の再開を求める決議が賛成多数で採択されました。人間ドックの受診は病気の早期発見等にもつながり医療費抑制の効果が期待できます。命と健康を守るためにも来年度から人間ドックの補助を再開すべきだと思いますがいかがですか。

○健康保険担当部長

特定健康診査と本市が実施する各種がん検診を合わせて受診することで、人間ドックと同等程度の検査項目の内容になると考えています。これまでも特定健康診査等の受診率向上のために、さまざまな取り組みを行ってきましたが、今後もまずは、特定健康診査

と各種がん検診の受診率の向上を図っていきたくと考えています。そのため、来年度からの人間ドック助成制度の再開は、今のところ予定していません。

○市長

人間ドック助成制度の再開は、現在の財政状況の制約などから考えると困難です。しかし、市民の皆さまの健康づくりは大変重要ですので、特定健康診査等のさらなる充実に向け検討していきます。

このほか

○介護保険の充実を

○放射線対策の強化を



市立病院健診センターの検査機器

春バスは福祉的観点をもつて拡充を



大野とし子 議員

先行運行する粕壁・幸松地区運行ルートと庄和地区運行ルートを含む、春バスの第2次運行計画最終案が提示されました。日曜日を除き毎日運行され、大風会館から南桜井駅への路線ができるなど一定の評価ができますが距離によって料金が値上げとなる案が示されました。地域公共交通総合連携計画案の課題として、高齢化社会への対応があります。高齢者の外出や社会参加を促し地域の活性化にも資するとありますが、この課題を一番に担うのがコミュニティバスとしての春バスです。

○都市整備部長

高齢者を含め、あらゆる世代が利用しやすくするために、市内均一100円という料金を維持するべきと考えますがいかがでしょうか。
また、廃止となる地域の住民のため、乗合タクシーなどが必要だと考えますがいかがでしょうか。

料金設定については、民間バスとの運賃格差の是正、各公共交通利用者の受益と負担の公平性を図るといった考えから、一定の距離等に応じた料金設定としました。
路線の廃止については、停留所の利用者が1日1人いるかどうかという状況で、今後の利用が見込めない地域であり、また、代替措置の実施についても難しいと考えます。

このほか
○敬老会の祝い品を全員に、開催は各地域で
○南桜井駅南口トイレ設置を

選挙投票率向上について



荒木 洋美 議員

現在、政治への不信感を持つ方や無関心な方が増加して、選挙投票率の低下が問題とされています。

原因としては、候補者や政治家の責任もあり、議会としても改革に取り組み、活動を理解していただくため努力しているところです。

市としても、投票率向上の啓発に努めているとは思いますが、事務の効率化の観点で考えると、期日前投票での本人確認のための宣誓書記入が高齢者や障がいがある方など投票所になれない方には独特の雰囲気緊張してしまい、記入するのも時間もかかってしまいます。

他市などでは、ホームページから宣誓書を印刷して、自宅などで記入できる例もあり、手続きが軽減されて、投票率向上にも貢献しています。本市でも、同様にホームページを改良し、投票する方の負担を軽減して投票率向上を図ってはいかがでしょうか。

○選挙管理委員会事務局長

宣誓書がホームページから印刷できれば、高齢者や障がいがある方々の投票機会の拡大になり、多くの方々にとっても利便性が向上し、投票率の向上にも有効であると考えます。このため、次回の選挙までに必要な準備を整えていきたいと考えています。

このほか

○女性の命と健康を守る施策について

○高齢者に優しい施策について

**東京電力
福島第一原子力発電所の
爆発と環境について**



蛭間 靖造 議員

福島第一原子力発電所の事故から9カ月が経過しました。いまだに収束の域を出ておらず、近隣の市町村にも被害が拡大しています。放射性物質が、子どもたちに与える影響を考えると怒りを感じる思いであり、子どもたちの健康を守る対策が重要と考えます。

そこで、学校給食から内部被ばくをしないよう、食の専門職である栄養士の配置状況と食材の安全確保をどのように行っているのか伺います。

また、子どもたちの健康を維持するため、長期にわたり健康診断を行う体制が必要だと思いますが考えを伺います。

○学務指導担当部長

自校方式の学校には1名ずつ、学校給食センターには2名の栄養士を配置しています。栄養士と調理員が連携し、食材の納品時に、出荷規制の対象食材がないか確認をしています。また、野菜は学校給食

衛生管理基準に基づき、流水洗浄を行うなど、より安全性を高めて使用しています。

また、9月分の食材から、ホームページや献立表に産地を記載して、各家庭へ情報提供を行っています。

○健康保険担当部長

母子保健法などに基づき、健康診断を実施していますが、放射線に対する健康管理は、国により広域的に対応することがより効果的と考え、積極的に万全な措置を講じるように要望しています。

このほか

○交通政策について

**保育所の待機児童の
解消策について**



片山いく子 議員

本市では、保育所の新設・増設により定員を拡大することで待機児童の解消を図るとし、平成18年から23年までに、保育所は4カ所増え、定員も565人増えています。

しかし、待機児童は23年11月で93人おり一向に数は減りません。中でも3歳未満児が

ここ数年98パーセント以上を占め続けています。この点についての見解を伺います。

また、19年度から保育所の新設・増築に係る事業費が約17億3700万円となつていますが、3歳未満児の待機児童解消につながっていません。

特に年度途中の待機児童が減らない状況を見ると、家庭保育室の整備などに政策転換すべきではないでしょうか。

○福祉健康部長

安心安全な保育環境を多くの家庭に提供するため、認可保育所を中心に整備を進めてきました。近年は、子どもが3歳未満のうちから就労する家庭が増え、3歳未満の待機児童が増加しており、保育所整備の際には、3歳未満児の定員拡大に努めています。

また、家庭保育室は個別に柔軟な対応が可能ですが、密室性が高く、保育者の資質が児童に影響しやすいなどの特徴があることから、今後の保育を考える中で、選択肢の一つとして検討していきます。

このほか

○自転車が安全に走行できる環境整備について

○食品の放射能測定について

○武里団地7街区の跡地利用

**市立図書館に育児しながら
気軽に利用できる
「あかちゃんタイム」の創設を**



大山 利夫 議員

庄和児童センターを利用する若いお母さん方から、小さな子ども連れの保護者でも気軽に庄和図書館が利用できるものかと相談を受けました。そこで、小さな子ども連れの保護者の方が気兼ねなく図書館を利用できる事業として、庄和図書館に週1回2時間程度の「あかちゃんタイム」を杉並区の区立図書館のように設けてはいかがですか。図書館は多くの市民が利用しており「あかちゃんタイム」の趣旨を館内によく周知し、子どもの泣き声等があっても周囲の目を気にせずに利用できるスペースと時間を小さな子ども連れの保護者の方へ提供することが大事であると思えますが、考えを伺います。

○社会教育部長

「あかちゃんタイム」は育児中の方にとって大変効果的な事業であると考えられます。育児中の方への支援もさるこ

とながら、幼児の読書活動の推進にもつながります。今後、本市の市立図書館でも実施に向けての調査・検討を進めていきたいと考えています。

このほか

○紙おむつのリサイクルへの取り組み

○給食の食べ残しを児童・生徒に持ち帰らせる試行と献立表への企業広告の掲載

○災害発生時に必要な情報を記入する「命のパスポート」

○ギャンブル依存症の周知と予防啓発活動の取り組み

○「空き家等の適正管理に関する条例」制定の進捗状況



庄和図書館の閲覧コーナー

**第1・第2保育所の
建て替えと
武里団地東側に保育所を**



渡辺 浩美
議員

平成23年度当初には減少していた待機児童が、年度末に向けて増えていきます。特に0歳児から2歳児が多く、社会状況を考えると、低年齢の待機児童はさらに増加すると考えられます。老朽化の進んだ保育所を建て替え、低年齢児の枠を増やす必要があります。前回の市長選挙でのマニフェストには、第1・第2保育所を4年以内に建て替えるとしています。ですが、どのように進める予定でしょうか。

また、武里地区の東側には保育所がありません。保育所の一次募集では、武里地区にある全ての保育所で、定員数を上回っており、保育所の増設が必要です。増設や建設用地を確保して、民間から公募してはいかがでしょうか。

○福祉健康部長

公共施設状況調査や公共施設のある方の検討を経て、具体的な計画を策定する予定です。

す。その中で、就学前児童数や待機児童の状況を考慮し用地や建物の規模の検討をしていきたいと考えています。また、現時点で土地を確保し公募する方法は考えていません。

○市長

第1・第2保育所の建て替えは、景気の低迷、税収の低下が続いており、また震災に伴う耐震対策など緊急課題への対応が必要な状況のため、総合的に検討していきます。

このほか

○こども医療費無料制度の拡大を

○児童虐待をなくすために

**春日部市の魅力を
市内外へ発信するについて**



栄 寛美
議員

春日部市の魅力を市内外に発信するにあたり、自治体間の相互PR協定を結ぶことについて伺います。坂戸市では、長野県青木村と相互PR協定を結び、お互いの広報紙を使い、情報を掲載する取り組みをしています。

災害時の相互支援協定を締

**内谷地区の
整備について**



岩谷 一弘
議員

内谷地区の市街地整備について、以下質問いたします。

①埼玉県の見直しガイドラインについて

②地区計画の内容は内谷と八木崎では同じになるのか

③建築制限解除弊害について

④地元対応と市長見解について

○都市整備部長

県では、今年度内をめぐに長期未着手の土地区画整理事業の見直しガイドラインを策定中です。今回、県や地元の方々の合意形成を図った上で、内谷地区は土地区画整理の廃止、地区計画による整備という方向で進めたいと考えています。

地区計画の内容は画一的なものではなく、地区の特性や地元意向に沿って柔軟に対応していきます。

また、地区整備計画として、道路や公園などの地区施設の配置、さらに規模に加えて建

築物に関する事項で建築物の階数制限、用途などについても定めることができます。

○市長

長年の懸案事項でありました内谷地区の整備について、地区の現状に合わせた新たな手法でのまちづくりを提案させていただきました。実現にあたり、地区長をはじめ地元関係者の声を十分に聞きながら進めていきたいと考えています。

このほか

○放射線量測定と低減化対策について

○戦略的広報について



内谷地区の集会所

幸松川の排水と悪臭 及び害虫対策について



一 佐藤 議員

幸松川は、国道4号の東側を流れており、ボックス化がされていることから、水路の上は歩道として活用されています。そこで、この幸松川 of 管理責任は市なのか国なのか伺います。

また、小渕小学校周辺においてゲリラ豪雨のような降雨時に雨水が幸松川に排水されない原因と冠水対策がどうなっているのか、合わせて夏場には虫がわき、悪臭が辺り一面に広がることから、害虫や臭いなどの発生原因とその対策についても伺います。

○建設部長

幸松川の管理は、通水機能の管理を市が行い、歩道の維持管理を国が行っています。

小渕小学校周辺の雨水排水は、幸松川に流入していると認識していますが、水の流れを阻害することのないよう水路清掃などで常に水路の環境を良好に保ち、浸水被害の軽減に

努めます。

また、ボックスカルバート内のヘドロの堆積は、現在約5センチメートルとなっております。幸松川の歩道上の雨水ますから発生する虫や臭いについては、夏場における水温の上昇とヘドロの堆積によるものと考えています。今後虫や臭いの発生が予想される場合は、ボックスカルバート内の消毒回数を増やすなどの方法で害虫や悪臭の発生防止に努めていきます。

このほか

○ストリートダンスによるまちの活性化について



幸松川上部に整備された歩道

今定例会の日程

11月28日

開会、議会基本条例策定特別委員長中間報告、議案第71号から議案第96号までの上程・説明、議案第97号から議案第101号までの上程・説明・質疑・討論・採決、諮問第5号から諮問第8号までの上程・説明・質疑・討論・採決

11月30日

議案に対する質疑

12月2日

常任委員会

12月6・7・9・13・14日

一般質問

12月16日

各常任委員長報告とそれに対する質疑、議案及び請願に対する討論・採決、議員提出議案の上程・説明・質疑・討論・採決、閉会

閉会中の委員会活動

▽建設委員会

10月18日～20日

・行政視察：：気仙沼市（水道事業の被災状況と復旧状況について）、一関市（景観計画について）、大崎市

（都市再生整備計画について）

▽厚生福祉委員会

10月19日～21日

・行政視察：：豊川市（新豊川市民病院・病院棟新築工事について）、中津川市（障害者トライアル雇用奨励事業について）、安曇野市（放課後児童クラブについて）

▽教育環境委員会

10月19日～21日

・行政視察：：鯖江市（学校給食畑と市役所食堂での給食提供について）、東近江市（認定農業者及び農業生産法人の育成指導について）、宇治市（小中一貫教育と学校規模適正化について）

▽総務委員会

10月26日～27日

・行政視察：：栗原市（災害情報緊急ホットラインシステム）、名取市（東日本大震災被災地視察・東日本大震災への初動対応について）

▽議会運営委員会

11月15日～17日

・行政視察：：彦根市（議会改革について【議会開放プロジェクトチームの活動】、大津市（議会改革について【質疑、質問の方式】）、茨木市（議会改革について【市議会と龍谷大学との連

携協定）

11月22日

・平成23年12月定例会運営について

▽議会基本条例策定特別委員会

10月24日

・一般質問の制限時間について
・前文の検討について
・市民説明会の意見を受けての内容修正について

10月31日

・一般質問の制限時間について
・前文の検討について
・市民説明会の意見を受けての内容修正について

11月22日

・骨子からの条文化について
・前文の検討について
・（仮称）春日部市議会基本条例骨子案に対する修正案について

▽図書室運営委員会

1月10日

・追録図書について

▽議会だより編集委員会

12月19日

・議会だより第26号の発行について
1月10日
・議会だより第26号の発行について